

No.446

持分の定めのない医療法人への移行に関する課題の考察 (移行済の医療法人へのインタビュー調査)

原 祐一、堤 信之、坂口一樹、石尾 勝

概要

「持分なし医療法人」への移行を検討している医療法人を支援する目的で、先行して移行済の以下の4医療法人にインタビュー調査を実施した。

- ・「社会医療法人」に移行済のA医療法人
- ・「持分なし医療法人」に移行済のB医療法人
- ・「特定医療法人」を経て「社会医療法人」に移行済のC医療法人
- ・「基金拠出型医療法人」に移行済のD医療法人

その分析結果を基礎資料とし、上記移行に関して考えられる課題を抽出して考察を加え、支援のためのポイントを次の3点にまとめた。

- ・「持分あり医療法人」の経営者他の関係者が、上記移行に係る知識・情報を理解し、検討する機会を、行政、医師会として設定することが有効である。
- ・「持分なし医療法人」への移行に当たり、「関係者への特別利益の供与」に抵触しないかの個別判断を容易にするため、行政による支援（MS 法人との取引に関する具体的事例の公開等）を行うことも、有効ではないか。
- ・出資持分放棄に賛同しない保有者がいる場合の移行支援策や、上記移行に関する医療法人への新たな発想でのインセンティブの検討も有効ではないか。

▼ダウンロード（約 914KB）

<https://www.jmari.med.or.jp/download/WP446.pdf>